

徳川 16 代当主 家達の旧別邸（郷土資料館）等の存続を求める陳情

逗子市議会議長 高野毅殿

日々闊達な政務活動に感謝申し上げます。

去る 11 月 16 日（土）市役所にて、郷土資料館廃止の説明会がありました。参加された方に伺いましたが、建物の雨漏りがひどく貴重な資料の保管場所として機能できなくなり屋根の修繕も財政上困難なため資料館として廃止するとのことでした。

これまで同館は休館とされていたため再開を楽しみにしていた一人として、誠に残念です。市の担当課が社会教育課から緑政課に代わるとのことですが、同説明会では緑政課は出席せず、今後の修繕や利活用のあり方等を伺うことはできなかったとのことでした。

現在、蘆花記念公園には、この郷土資料館つまり徳川 16 代当主 家達の旧別邸をはじめ協村邸、第 1・第 2 休憩所など見事な木造建築群があります。それらの文化的価値は時を経るごとに増しています。仮に資料館機能を他に移したとしても、徳川旧別邸はじめこれら木造建築群をしっかりと修繕し、後々まで継承すべきではないでしょうか。

しかし現在の財政難を理由に、屋根等の修繕を怠れば建築群は全て朽ちて無くなることでしょう。貴議会におかれましては、徳川旧別邸はじめ蘆花記念公園内の木造建築群の修繕と存続、及び利活用について、市がしっかりと政策化するよう求めていただきたく陳情申し上げます。

2019 年 11 月 25 日

逗子市池子 3-10-12

石井 昭子 